

## 🇧🇷 ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

2018年11月19日

【2018年11月10日～2018年11月16日までの推移】

### 【1】先週の回顧

先週のブラジル・レアルは、対円、対米ドルともに下落しました。また、2年国債金利は低下しました。ボルソナロ次期大統領が年内の一部承認を目指していた年金改革に対して、悲観的な見解を示しました。市場では当初より、年内の承認は難しいと見られていたため、反応は冷静なものになりました。

また、注目の集まっていたブラジル中央銀行総裁職の行方ですが、ボルソナロ次期大統領はサンタンデル銀行理事のカンポス氏を次期総裁に指名しました。これまでゴールドファイン現総裁が退任した際の後任人事に不透明感が漂っていましたが、ゴールドファイン氏同様にエコノミスト経験のある改革推進派のカンポス氏の指名は市場に好感的に捉えられました。

経済指標に関しては9月の経済活動指数が発表されました。前月比で市場予想を上回りましたが、前年比で下回る内容となり、市場の反応は限定的でした。

### 【2】今週の見通し

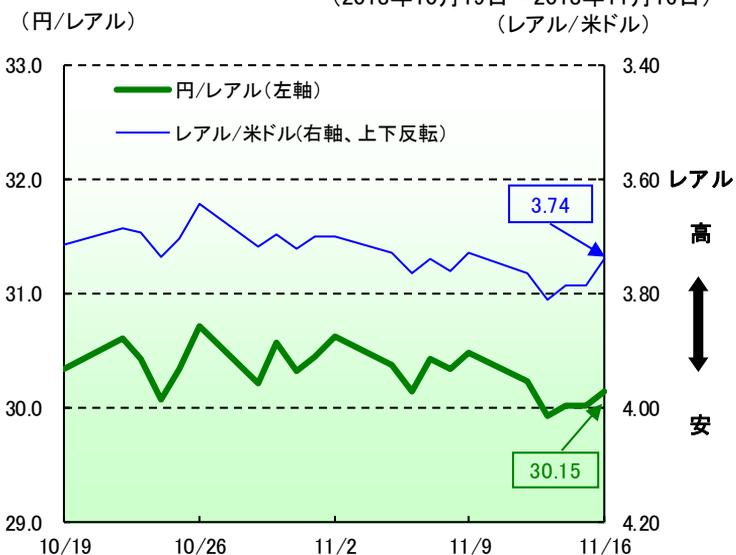
今週は、各種インフレ率などの経済指標の発表が予定されています。

市場の注目は年金改革が2019年になる見通しが強まったことで、一旦、次期政権の閣僚人事など別のテーマに移りそうです。直近では米国のトランプ大統領を強く称える右派礼賛的な言動で知られるアラウージョ氏を次期外相に指名したことで、一部では今後の外交政策への不安感がささやかれています。

一方、新政権誕生を受けた2019年のブラジル経済の行方ですが、こちらは期待が持てそうです。コンサルティング会社のデロイト社が大統領選直後に行った調査によると、新政権の構造改革を期待して2019年に、調査対象の826社のうち97%が投資を、47%が雇用を増やすと回答し(雇用を減らすと回答したのは7%)、ブラジル経済の回復に期待が持てる結果となりました。

### 【ブラジル・レアル 為替推移】

(2018年10月19日～2018年11月16日)



※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

### 【ブラジル 金利推移】

(2018年10月19日～2018年11月16日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
- 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>